



http://amano-yukio.jp

千葉県議会報告

千葉県議会議員 (千葉市稲毛区) ゆきお

天野行雄

天野 ゆきお 〒263-0024 千葉市稲毛区穴川2-12-6
政務活動事務所 TEL 043-308-7272 FAX 043-308-7171
E-mail yukio.amano@nifty.com

No.14



千葉県議会議員選挙

1票の格差2.51倍

是正されず!!

千葉県議会議員選挙における議員定数等に関する事項を検討するため、「千葉県議会議員定数等検討委員会」を平成26年2月28日に設置し合計6回の委員会で議論を進めましたが、改正案を二つ示したまま一つに絞り込まない会派(政党)の影響もあり、委員会での議論は停滞し審議は時間切れとなりました。

その結果、議員定数95名の見直し(削減)、1票の格差2.51倍の是正、さらに逆転選挙区・飛び地選挙区の解消についても委員会では合意に至りませんでした。

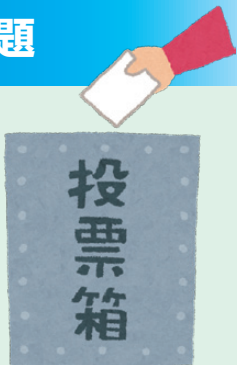
議員定数等の改正の議論は、前回(4年前)に引き続いて今回も不調となり、またもや4年後まで先送りとなりました。



I. 千葉県議会議員選挙における課題

千葉県では、市町村の人口変動や市町村の合併など選挙区の情勢変化に対して、千葉県議会議員選挙における選挙区や定数の見直しを行い、1票あたりの格差の是正等を行ってきました。

現在の千葉県議会の議員定数は95名で選挙区数は46となっていますが、1票あたりの格差の拡大など課題が顕在化する状況にあります。



課題 1 選挙区間の較差(1票あたりの格差)2.51倍

議員定数1名あたりの人口を比較すると、銚子市と印西市で2.51倍の較差があります。なお、この較差は平成22年の国勢調査結果によるものであり、前回の平成23年の統一地方選挙執行時にも既に同様の課題が発生していましたが、4年後に先送りされていた課題です。

平成26年1月時点で試算をするとその較差は更に拡大し、2.75倍となっていますので、必ず解消しなくてはならない課題です。

選挙区	定数(名)	人口	定員1名あたりの人口	1票あたりの較差
銚子市	2	70,210人	35,105人	2.51
印西市	1	88,176人	88,176人	

課題 2 逆転選挙区

人口の多い選挙区の定数が、人口の少ない選挙区より少なくなっている逆転現象が県内に発生しています。前回選挙時における逆転現象は、銚子市と印西市及び八街市、香取市と印西市、四街道市と印西市の4通りです。図表で示した人口は平成22年の国勢調査の結果ですが、平成26年の印西市の毎月常住人口は91,367名まで既に増加しています。

【県内の逆転選挙区】

選挙区	定数(名)	人口	選挙区	定数(名)	人口
銚子市	2	70,210人	印西市	1	88,176人
			八街市	1	73,212人
香取市	2	82,866人	印西市	1	88,716人
四街道市	2	86,726人	印西市	1	88,716人

課題 3 飛び地選挙区の存在

一つの選挙区の中に隣接しない市町村が存在する選挙区があります。市町村合併などにもない派生した課題ですが、千葉県では下表の三つの選挙区となります。



	選挙区	構成する市町村名
①	香取郡	神崎町・多古町・東庄町
②	印旛郡	栄町・酒々井町
③	山武郡	横芝光町・九十九里町

II. 民主党会派の改正案について

議員定数を95名から76名へ削減。将来的には60名程度まで段階的に削減を!

民主党会派の見直しのポイントは、課題として顕在化する逆転選挙区及び1票の格差が2倍以上の選挙区の改正と飛び地選挙区の解消をします。さらに県内には定数1名の選挙区が20区存在していますが、無投票となる事が多かったり、投票されても死票が多くなるので、選挙区を拡大して複数区への見直し案を提示しました。

民主党会派の改正案の策定時に私(天野県議)からは、1度に大幅な改正を実行すると市民や基礎自治体等への影響が大きいため、激変緩和方策として2段階での現実的な改正を実施するという緩和策を提案しました。また議員定数については、初回

は定数79名へとする削減案ですが、将来的には人口10万人に1名程度の議員定数とするために60名程度まで削減するという2段階の削減を提案し、民主党の改定案に反映されています。

民主党から委員会への提案内容ですが、議員定数を95名から79名へと16名削減します。そして将来的には県民10万人に対して議員数1名となる60名程度を目指すことを明示しました。また、1票あたりの格差は最大1.76倍へと縮小し逆転選挙区も解消します。1名選挙区の解消では20選挙区の解消を目指しましたが、地理的な条件の制限もあり2選挙区が残る提案内容となりました。

振り返ると、約半年に亘る委員会での議論でしたが、結論としては一つの改善もなく、1票の格差や逆転選挙区の解消は行われず、次の統一地方選挙を迎えることとなりました。自民党会派は、ただ時間の引き延ばしによる時間切れを狙った訳ではないのですが、課題を顕在化したまま次回の選挙が実施され、改正が4年後に先送りされたことは、県民にとっても本当に残念な結果であると思います。



Ⅲ.「千葉県議会議員定数等検討委員会」での検討と結論

委員会では時間切れ、結論を得ず、次回は従来どおりの議員定数と選挙区で実施!

千葉県議会議員の定数及び選挙区等について、「千葉県議会議員定数等検討委員会」を平成26年2月28日に設置して、合計6回の検討委員会を開催しました。

各会派からは、別記一覧表(各会派の議員定数等見直し案)のとおり改正案が示されましたが、自民党会派では当初は二つの改革案を示しており、他会派の委員からはこれでは議論が進まないため早急に一つの案に絞って再提案してほしいとの多くの意見がありました。ところが平成26年9月11日の第5回の委員会開催の時点でも二つの案を一つに絞り込めず、あげくの果てに当初案を取り下げるとともに、一覧表にあるとおり議員定数も選挙区も全て現行どおりという見直し案が再提案され、構成する委員が呆然とする事態となりました。

平成26年9月18日の第6回委員会では、再度議論を交わしましたが検討委員会として意見の一致が見られないという結論となりました。委員会では、次期改選後直ちに検討をすべきとの発言や第三者機関を設けて見直すべきとの発言もありました。

Ⅳ.これからの私(民主党)たちの対応

議員自ら、身を切る改革を!!

千葉県議会において議員定数や選挙区等の改正にあたり、このような結論となり、改正が先送りされたことは残念でなりません。国会での2年前の議論を振り返ると、当時の野田総理と自民党安倍総裁との間で、税と社会保障の一体改革を進めるにあたって、消費税を5%から8%へと引き上げ国民に痛みを押しつけるならば、議員自らが身を切る努力をすべきであるとの約束が交わされ、国会議員の1票あたりの格差の是正と議員定数の削減に取り組むわけでしたが、その約束は守られず今も改善はされていません。

目の前に改善すべき課題があるならば、さらに自分たち議員に直接関与する課題であるならば、なおさら真摯に取り組まなくてはなりません。私たち改革政党である民主党はこの審議結果に挫けることなく、これからも県民の代表として身を切る改革を行い、その役割を果たすことを約束します。



【各会派の議員定数等見直し案】

	議員総定数	選挙区数	飛地選挙区	逆転選挙区※1	一票の格差(最大)
現 状	95 ()は現状との差	46 ()は現状との差	●印旛郡 ●香取郡 ●山武郡	●印西市と四街道市 ●印西市と香取市 ●印西市と銚子市 ●八街市と銚子市	印西市= 2.51 (銚子市=1)
自 民 党	95 (± 0)	46 (± 0)	現行どおり	現行どおり	現行どおり
民 主 党	79 (▲16)	27 (▲19)	解 消	解 消	八千代市= 1.76 (鎌ヶ谷市=1 ※2:以下同じ)
公 明 党	81 (▲14)	29 (▲17)	解 消	政令市との比較を 除き解消	旭市+匝瑳市= 1.95 (東金市+大網白里市=1)
共 産 党	95 (± 0)	29 (▲17)	解 消	解 消	四街道市= 1.73 (館山市+南房総市・安房郡=1)
市 社 無	91 (▲ 4)	39 (▲ 7)	解 消	解 消	浦安市= 1.90 (四街道市=1)
みんなの党	79 (▲16)	26 (▲20)	解 消	解 消	印西市= 1.46 (香取市+香取郡=1)
県民の声※3	77 (▲18)	29 (▲17)	解 消	政令市との比較を 除き解消	八千代市= 1.49 (千葉市を特別選挙区として比較から除く。 東金市+大網白里市+九十九里町=1)

※1…人口の多い選挙区の定数が、人口の少ない選挙区の定数より少ない逆転現象。

※2…議員1人当たりの人口が最小の選挙区を「1」とした。

※3…県民の声は、平成26年5月1日の常住人口調査を用いて試算。